

官民協働海外留学支援制度 拠点形成支援事業
活動実績報告資料

いしかわ高校生グローバル人材
育成推進事業

令和7年度活動報告

■事業背景や事業目的

本事業は、石川県の高等学校、特別支援学校の高等部及び高等専門学校（第3学年以下に限る。）に在籍する日本人生徒等、または広域通信制高等学校に在籍し石川県内の通信教育連携協力施設において通信教育を受けている生徒のうち石川県に居住している日本人生徒等に対し、諸外国及び諸地域への留学に必要な費用の一部を奨学金・留学準備金として支給するとともに、留学経験の質を高めるため、留学の前後にオリエンテーションの提供及び留学後の継続的な学修や交流の場を提供する。本事業では、生徒等が自ら立案・作成した「探究活動」を含む語学の習得を目指す留学を支援し、派遣留学生は留学先において日本や石川県の良さを発信する「アンバサダー活動」、留学中や帰国後には留学機運醸成に寄与すべく、留学の魅力や留学で得た体験を周りに伝える「エヴァンジェリスト活動」にそれぞれ取り組むものとする。

地域協議会基礎データ

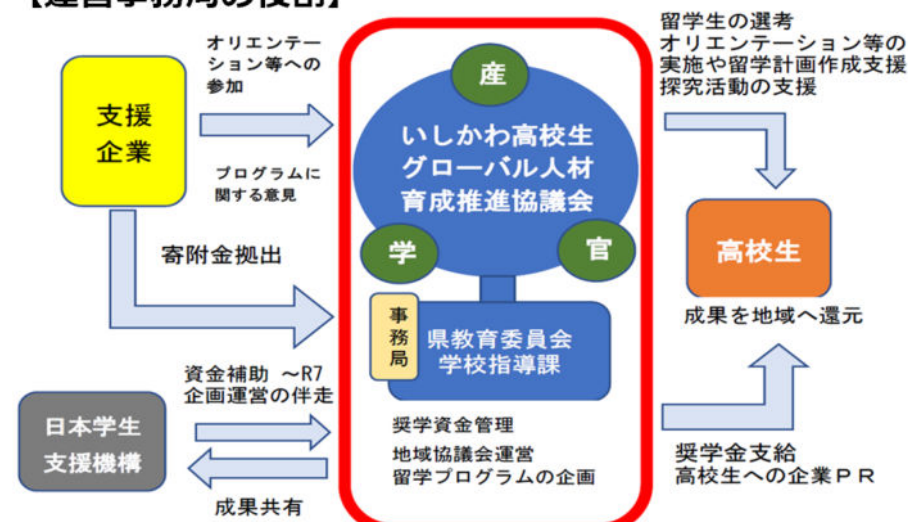
【地域協議会代表者】

石川県教育委員会教育長 酒井 雅洋

【運営事務局】

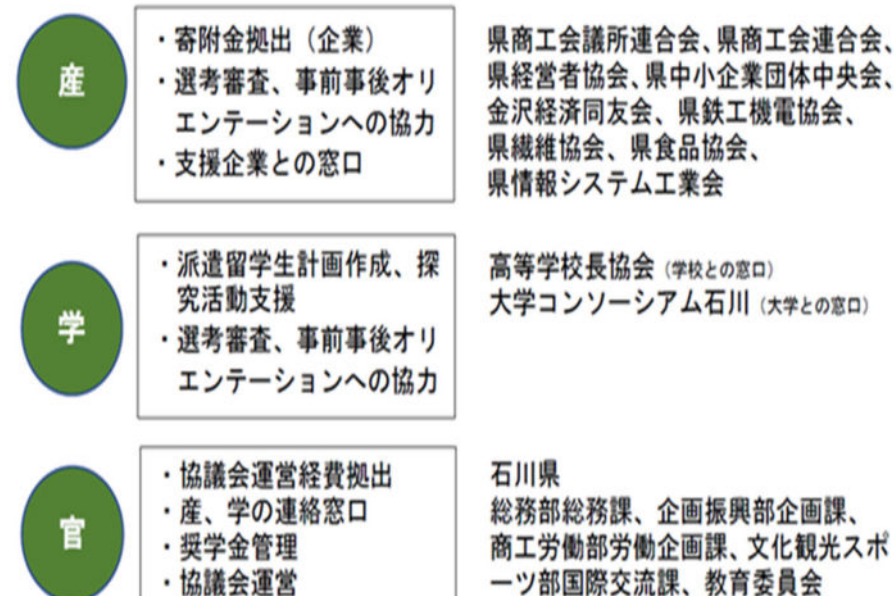
石川県教育委員会事務局学校指導課

【運営事務局の役割】



【地域協議会の構成員及び役割】

いしかわ高校生グローバル人材育成推進協議会



■プログラム全体の概要

○育成したい生徒像

世界の異なる文化や考え方を受け入れる寛容性や、課題解決に向けて主体的にチャレンジする姿勢、創造性を身に付けた生徒を育成する。

○生徒に期待する成果

- ・国際感覚を持った課題発見・解決力
- ・自らの意見を広く世界へ発信できる力
- ・将来、地域の様々な分野を牽引し、地域活性化に貢献しようとする意欲
- ・英語等を用いてのコミュニケーションスキル

支援する留学プログラム

全国版と併願可

留学期間：7月10日～ **10月31日**

● **5つ**のコースから選択

留学日数：14日以上 **31日以内**

留学先：指定なし

内 容：留学先で以下を行う

- ① 語学研修
- ② 探究活動
- ③ いしかわ魅力発信活動
(アンバサダー活動)

支援金額：6万、12万、16万円

※留学先・家計基準によって異なる
※その他、留学準備金あり

15万円(アジア地域)25万円(アジア以外)

コース名	探究テーマ内容	支援予定人数	募集単位
① マイ好奇心探究コース	自分の興味・関心等	若干名	個人
② 社会課題探究コース	社会課題等	若干名	
③ STEAM探究コース	STEAM領域(科学・技術・工学・芸術・数学)	若干名	
④ スポーツ・芸術探究コース	スポーツ・芸術	若干名	
⑤ ふるさと いしかわ 探究コース (県独自のコース)	ふるさと石川の (A) 自然・環境 (B) 文化・伝統 (C) 産業 (D) 復興・未来	約40名	個人 または チーム
計		約50名	

■地域探究コース概要

○ふるさと いしかわ 探究コース * 個人その他、最大4名までチームを作ったの応募も可能

①「ふるさと石川」に関する4つの分野から探究課題を設定

例	(A) 自然・環境	(B) 文化・伝統	(C) 産業	(D) 復興・未来
	動植物、豊かな四季 里山里海、川・湖沼 海岸、地質、自然公園	文学、思想、茶道、華道 美術、芸能、祭り、方言 漆器、陶芸、染織、金工	農林業、機械・電気 水産業、繊維・化学 観光業、土木・建築	まちと交通、環境保全 情報化、ボランティア 医療・福祉、国際化

②地元企業や大学教員からの助言を得て、探究内容や進め方を決定

③留学先のフィールドワークによる探究活動の深化

④探究活動成果を発表 ⇒ 探究成果を地域に還元

- ・ ふるさと教育に活用する教科書として県教委が作成 (H18～)
- ・ 本県の全高校生に配布



壮行式
事前オリエンテーション

海外留学

事後オリエンテーション

留学成果発表会

■ 壮行式・事前オリエンテーション

① 壮行式

- 1 協議会会長激励
- 2 支援企業激励メッセージ
- 3 文科省激励ビデオメッセージ
- 4 派遣留学生代表決意表明



派遣留学生代表決意表明



いしかわ高校生グローバル人材育成
推進協議会会長(教育長)激励



集合写真

② 事前オリエンテーション

1 留学計画プレゼンテーション

グループ内で留学計画についてプレゼンし、派遣留学生同士で意見交換した。各グループには、支援企業、大学教授、先輩トビタテ生が加わり、留学計画のブラッシュアップのための助言を行った。

2 英語研修+ランチョンセミナー with ALTs

ALTと日本や石川の文化について英語で話したり、外国人から見た日本文化、生活習慣に関する疑問について英語でグループディスカッションを行った。また、日常生活についての様々な話題についてALTと自由に話しながらランチを楽しんだ。

3 安全について、注意事項、事務連絡

4 先輩トビタテ生の留学体験談、応援メッセージ

昨年度の派遣留学生を代表して、カンボジアでの留学体験談と留学準備のためのアドバイスを行い、今夏留学する派遣生にエールを送った。



留学計画プレゼンテーション



英語研修

ランチョンセミナー



先輩トビタテ生の
体験談





■ 留学計画事例

留学計画タイトル:

和倉温泉の復興作戦を立てよう！～世界最高峰の温泉街から学ぶ～

温泉を中心として発展しているニュージーランドの都市に留学し、和倉温泉におけるインバウンド需要を高めるための効果的な取組みを研究する。

留学前

- ・金沢駅観光案内所で外国人観光客に関するインタビュー
 - 観光案内所数の比較分析
 - 観光客の出身国、目的等の聞き取り調査
- ・和倉温泉公式HP研究
- ・SNSで和倉関連を検索
 - 公式アカウントでの情報発信の内容や頻度、外国人観光客による投稿を調査

留学中

●留学先 ニュージーランド

世界有数の温泉街であるロトルアが、インバウンドをうまく取り込めている理由を調査し、なぜ温泉を中心とした観光都市として発展したのかを調べ、和倉温泉の事例に生かす。

- 観光ツアーへ参加、内容の研究、ツアー参加者（観光客）へのインタビューを行う。

- フォトスポットを調査。SNSを通じたマーケティングへの意識を調べる。
- 観光案内所、旅行代理店でのインタビュー

留学後

- 和倉温泉においてインバウンド需要を高めることができる取組の考察
 - 地元大学主催の探究成果発表会で取組事例を提案

壮行式
事前オリエンテーション

海外留学

事後オリエンテーション

留学成果発表会

【海外留学】

●派遣留学生 18校58名

【内訳】 個人54名、
2チーム
(2名×2チーム)

留学期間 最大31日
最小14日

国	人数
オーストラリア	16
イギリス	10
ニュージーランド	9
アメリカ合衆国	8
カナダ	8
シンガポール	2
フィリピン	2
インドネシア	1
オランダ	1
フィンランド	1
総計	58

1年	6
2年	45
3年	7



壮行式
事前オリエンテーション

海外留学

事後オリエンテーション

留学成果発表会

■事後オリエンテーション

①留学成果プレゼンテーション

事前オリエンテーション時と同じグループで、海外での体験や探究活動の成果、今後の活動計画について、グループ内の派遣留学生同士で意見交換を行った。各グループには、支援企業、大学教授、「とまりぎ」高校ローカルの学生が加わって成果発表に向けてアドバイスを行ったほか、支援企業とのフリートークも行われた。

留学成果プレゼンの様子

②トビタテ派遣留学生同窓組織「とまりぎ」高校ローカル協力企画 「ISHIKAWA☆みらいプロジェクト」

トビタテ生の同窓生組織「とまりぎ」の先輩トビタテ生の留学体験談と留学後の取組紹介の後、派遣留学生は留学と探究活動を振り返った。ペアやグループの中で協働し、それぞれの探究の良さを活かして、将来どのようなプロジェクトができるかを考案した。この活動を通して、協働することによりより良い課題解決の方策が見つかることや、コラボ企画によってより大きな課題に挑戦できることを派遣留学生は学ぶことができた。また、トビタテ生のネットワーク「とまりぎ」について学ぶ機会ともなった。

「とまりぎ」によるワークショップ

③事務連絡

- (1) 成果発表会詳細説明 (2) 留学成果報告書
- (3) 奨学金支給に係る事務手続き
- (4) 今後の各種行事等への協力依頼



集合写真



壮行式
事前オリエンテーション

海外留学

事後オリエンテーション

留学成果発表会

【留学成果発表会】～いしかわ海外留学フェア

海外留学に興味・関心のある中高生、保護者、教員を対象に「いしかわ海外留学フェア」を実施し、派遣留学生全員がそれぞれの留学体験を発表し、参加者に留学での学びを共有した。昨年度の派遣留学生4名が司会を務め、フェアの進行を盛り上げた。支援企業、協議会会員を含め、192名が参加した。

①支援企業感謝状贈呈式

拠点形成支援事業採択期間の最終年にあたり、支援企業39社に感謝状を贈呈した。

②留学成果ステージ発表

社会課題探究コース1名、ふるさといしかわ探究コース2名がそれぞれステージ発表を行い、発表の後には支援企業からの留学体験や探究活動の内容についての質疑応答が行われた。

③留学成果パネル発表



ステージ発表を行った3名以外の派遣留学生が、2グループに分かれそれぞれ3回ずつパネル発表を行った。派遣留学生は、留学体験を当日参加した生徒や保護者、教員等にプレゼンし、やり取りを行いながら、エヴァンジェリスト活動の一環として海外留学の魅力を発信した。留学生同士でも積極的な意見交換が行われ、今後の探究活動に繋がる会となった。

④オンライン留学講演会

いしかわ海外留学フェアは、事業の派遣留学生が留学体験を発表することによって、グローバルな社会で活躍することを目指し頑張っている身近なロールモデルに参加した生徒が会うことで、県内中高生等の留学機運を高めることを目的としていることもあり、留学に関する基礎知識等のインプットとして講演会も開いている。今回は、MMBH株式会社から、COO/MMBH留学代表 岸谷蘭丸氏を講師に招き、岸谷氏の留学体験の共有と、海外留学・進学を目指す生徒への激励メッセージをいただくことができた。留学をどのようにキャリア形成に役立てるのかについて考える機会となった。



参加の支援企業との記念撮影



支援企業からの質疑



昨年度派遣留学生によるフェアの司会進行

講演会の様子



10年後の能登半島を見据えて、ニュージーランドの復興事業・政策を学ぶ

- ・ 学年：2年
- ・ 派遣留学先：ニュージーランド クライストチャーチ（15日間）
- ・ 探究の問い：被災地住民に寄り添いながら創造的復興を進めていくために、どのような配慮が必要か。また、あらゆる主体の連携を前提としてどのような方策が有効か。

【探究テーマ・留学先の設定背景】

令和6年1月1日の能登半島地震は私にとっても決して他人ごとではなく、高校に進学してからも何か自分にできることはないかと模索する日々を過ごしていた。そこで、まず現地を知るために、炊き出しボランティアに参加したり、被災地の高校の生徒や先生方と交流を持った。そこで感じたのは、まだ震災の影響から脱しきれていない人々の現状と、それでも日常生活の中で楽しみを見出そうとする前向きさであった。この交流を通して、復興において必要不可欠なのは被災地で生活する人々の心情に寄り添うことであると考えられるようになった。そのため能登半島と同じような災害から復興に成功しつつある地域からヒントを得たいと考えて探究テーマの設定を行い、留学先を選択した。また、創造的復興においてアートを用いた観光が方策として有効ではないかと考えた。

留学前に被災地の高校と
オンライン交流→



【海外で行った探究活動】

留学後に被災地の高校で
報告提案→

2013年に日本の建築家によってデザインされ建てられたCardboard Cathedralの管理人とのインタビューを行った。建物は紙で作られており、エネルギーの消費が少ない作りであるため環境に良く、強風や豪雪の際スロープが動くことで建物の倒壊を防ぐ工夫がされているため、災害発生時にはシェルターとして利用できるため、見学を行った。語学学校では、カンタベリー地震発生後の避難の現状や、地震後の復興策についてインタビューを行った。また、地震後に作られた体験型観光施設を訪れ、震災の記憶や対策を次世代に伝える方法について学び、クライストチャーチ市内の公広場で、復興の一環としてカラフルなストリートアートや壁画が描かれて街を彩っていることを学んだ。

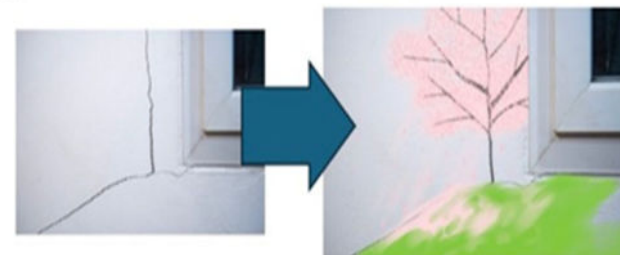


自作新聞記事の一部→



【帰国後の活動】

復興にはインフラの整備等の事業を進めると共に、アートやデザインを用いた記憶の継承や精神的なケアといった小さな活動を『まち』が一体となって行うことが必要だと留学で学んだ。この学びを、被災地の高校を実際に訪れ共有し意見交換等の交流を行った。また、留学での学びをまとめた新聞を作成し、被災地との交流等で配付した。



スマートシティ構想in能登～若者が住みたいまちづくり～

- ・ 学年：3年（チーム：2名）
- ・ 派遣留学先：アメリカ合衆国 サンフランシスコ（21日間）
- ・ 探究の問い：スマートシティ導入や能登復興について、私たちが発信し伝えていくべきことは何か？

【留学前に行った活動】

企業・団体・行政機関を訪問し、能登復興に関する情報収集を行った。企業では、第一次産業とITを組み合わせた新しい働き方や、地域と都市部をつなぐ取組について話を伺い、能登では林業や農業とITの融合に需要があることを学んだ。国土交通省能登復興事務所では、国が進めている復興の現状や課題、実際に行われている技術的な取組の具体を聞き、石川県庁および県議会議員の方からは、県と国の役割分担や復興施策について話を伺い、デジタルインフラの整備が今後ますます重要であることを理解した。能登復興は一つの立場だけで進められているのではなく、企業・国・県など多くの主体がそれぞれの役割を持って取り組んでいて、技術だけでなく、地域の特性や人々の暮らしを踏まえた復興の視点が重要であると気づいた。復興に対して何ができるのかを、これまで以上に強く考えるようになり、留学中に海外の事例と比較しながら学ぶ目的や視点を明確にすることができた。

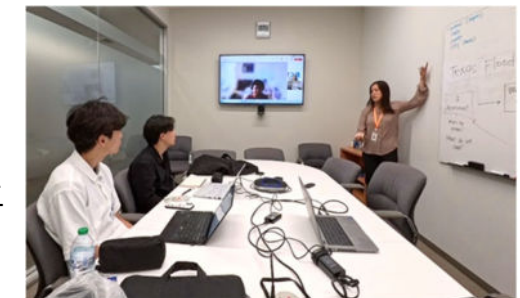
【留学中に行ったこと】

スマートシティに関連する技術や都市環境を体験し、現地の企業・団体で情報収集を行った。サンフランシスコでは、自動運転配車サービス「Waymo」を実際に利用し、最新技術が日常生活の中でどのように活用されているのかを体感した。また、トレインターミナルの屋上に整備された公共空間「セールスフォースパーク」を訪れ、都市部における自然や公共空間の役割について学んだ。サンノゼでは、現地企業を訪問し、IT技術と人々の生活との関係や、地域性に配慮した技術活用の考え方について話を伺った。企業ごとに異なる視点から意見を聞くことで、技術導入には多様な考え方があることを理解した。さらにロサンゼルスでは、大規模火災の被災跡地を見学し、NGOの職員から災害支援や減災の取り組みについて直接話を聞いた。

【チームの強みを活かして行ったこと】

- ・ それぞれが得意分野（調査・記録・発表など）を分担し、効率的に情報収集と整理を行ったこと
- ・ 異なる視点を持つメンバー同士で意見交換を行い、多角的に能登復興やスマートシティについて考察したこと
- ・ 現地で得た情報に応じて質問内容や探究の方向を相談しながら柔軟に修正できたこと

県庁でのインタビュー



NGO訪問



アンバサダー活動
← 日本食を振る舞う
↓ 折り鶴体験



支援企業からは、派遣留学生選考審査、事前・事後オリエンテーション、海外留学フェア（留学成果発表会）のすべての行事において協力をいただくことができた。選考審査では審査員として選考に携わっていただき、オリエンテーションや発表会では、派遣留学生の留学計画や成果発表に対して助言をいただいた。また、今年度は事前・事後オリエンテーション時にフリートークの時間を設け、派遣留学生と支援企業が各グループ内で自由に交流する機会を持つことができた。派遣留学生の中には、海外での探究活動の一環として現地企業を見学する生徒もあり、見学先として支援企業の海外支社や、支援企業に現地の関連会社を紹介してもらう事例も今年度は見られた。



支援企業とのフリートーク



支援企業の海外拠点を訪問

《支援企業からの声》

- ・高校生とは思えない積極性があり、意欲的に行動していることを社会人である私たちも見習わなければならない。今後、留学された方々はより学びを発掘し、近い将来に先頭に立つ大人になると信じております。今回、生き活きと発表をされる学生がほとんどで、聞いている私も海外への営業活動をより行いたいと考えさせられる学びの場でした。
- ・どの生徒も、高校生でありながら自分の考えをしっかりと持っていて、自信を持って発言しており、非常に頼もしく感じております。社会経験という意味では、まだまだこれからだと思いますが、少なくとも未来に向けて自分がどうなりたいのかしっかりと考え、イメージしているのがわかるので、将来、貴重な人材に育っていくのだと感じました。
- ・留学先において、地域貢献要素やボランティア要素の強い内容が多いですが、海外の企業を知るという意味で、一般企業（一般産業分野、製造業等）への留学もあれば、より一層、グローバル人材としての育成に繋がるかと思えます。
- ・留学なされる学生の皆さんは、明確な目的をお持ちになり、未経験でありながらも、挑戦する意欲や楽しまれるご様子に、心強さを感じ、将来が楽しみであり、応援しがいがありました。若い方は、可能性を秘めており、海外留学が、即社会人生活には役に立つかは分からないと思いますが、少なからず、留学された方にとっては、その後の人生に、良き影響を与えたいと思います。
- ・生徒さんひとりひとりが自主的に現状の課題をとらえ、良いテーマ設定がされていたと感じました。また、その課題への向き合い方も真剣で、良く調べ、自分で考え抜かれていました。それを伝える力はまだまだこれからと感じたところもありますが、これも経験することで自然と力がつくでしょう。一つにとどまらずに壁をこえていく、違う環境に身を置くことは将来的に必ず本人の成長へつながります。そのような環境を作っていくことが重要と改めて感じました。ものごとの変化が激しく、予測できない時代だからこそ、一つのところにとどまらず、新しい場所に身を置く、経験をする、多様な人とコミュニケーションをとることが必要です。



壮行式での激励

■高等学校等関係者

応募時の留学計画作成への支援、奨学金支給手続きにあたり、各学校の派遣留学生の支援で大きな協力を得た。留学計画の作成時に探究活動の内容の指導を行ったり、成果発表会での発表に向けた指導においても、各学校で派遣留学生をサポートしていただいた。また、留学成果の波及のために、学年集会での発表や、成果物の校内掲示等、各校で工夫を凝らした様々な取り組みが見られた。

《高校等関係者からの声》

- ・学校では探究活動が盛んに行われているが、トビタテにおける探究活動も学校の探究授業で学んでいることを深めたり活用するよい機会になった。
- ・留学を終えた生徒はみんな「一人で海外留学を成し遂げたことが大きな自信になった」と語っている。自分とは異なる文化や価値観を持つ人々に触れる中で、「これまでは些細なことを気にしすぎていた」という自身の変化に気づき、人前で発表することに対して以前より積極性が増したように見受けられる。留学そのものだけでなく、応募書類の作成やトビタテ関連の研修への参加など、普段の学校生活では得がたい経験を積み重ねたことも、生徒たちの大きな自信につながっているようだ。



各学校での留学成果発表

■大学等

派遣留学生の選考審査や、事前・事後オリエンテーションでの派遣留学生の留学計画や留学成果に関するプレゼンテーションに対して助言を行ってもらった。また、留学計画を作成する段階で、探究テーマについて専門的な角度から助言を受けたり、探究活動の受入先を探す際に、コンタクト先を紹介してもらったなど、様々な面で協力をいただくことができた。

《大学関係者からの声》

- ・留学したことで全員が自信に満ちた表情をしていたことがとても印象的でした。それぞれ発表資料が工夫されていて、内容も素晴らしく、良い経験を積むことができたのだらうと思いました。
- ・現地でインタビューやアンケートを行うことがよくあるようですが、高校段階ではそれらの調査に関する学習が十分でない場合も多いと思います。社会調査や調査倫理について学ぶ時間を、事前に設けることが有用だと考えています。
- ・派遣留学生の数が増えているのは良い。留学計画のタイトルや探究活動のテーマからもわかるように、今取り組まなければいけない大変重要な問題を正面から解決しようという大きな目標、本人にとって自分の人生の目標になるような素晴らしい内容が描かれている。派遣留学生をどのように伸ばしてあげるか、あるいは彼らの成果を学校内、あるいは地域の中でどのように共有して行くかが大切である。今この勢いがある時に、持続的にして行くかを考えていくと良い。特に、エヴァンジェリスト活動で、自分の経験をどのように伝えていくか、次に続く人たちをどう支援するか、後輩たちに、あるいは地域にどう還元するかの取り組みが何よりも重要かと思っています。



オリエンテーションで助言

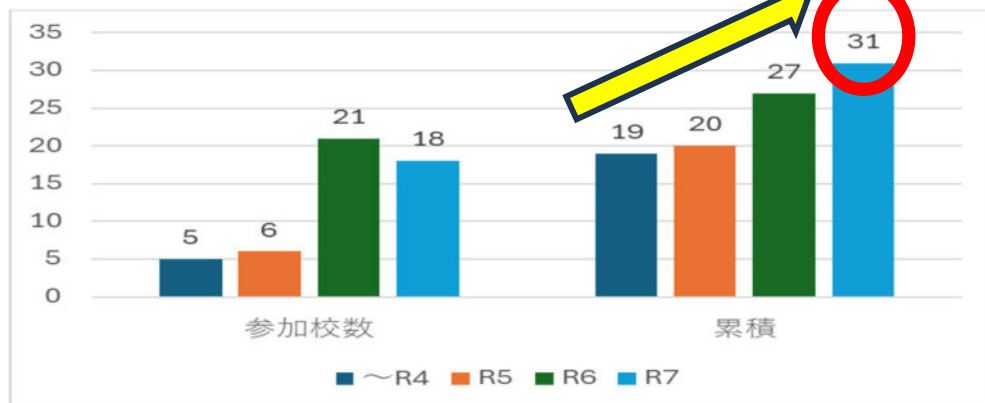
■ 地域全体の留学機運醸成の進捗

① トビタテ！留学JAPAN 派遣留学生数の推移



➢ 国事業と県事業の並行実施により、派遣留学生が大幅増加

② 参加校の推移



➢ 参加校数が大幅増加

➢ 専門高校からの参加も増加

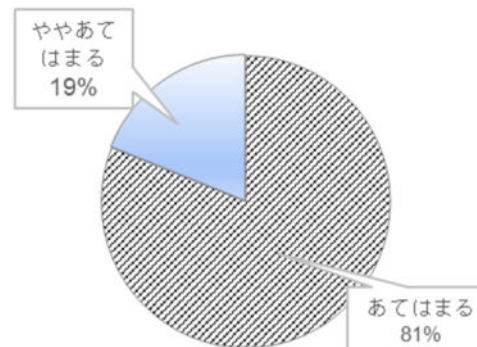
~R4 累積19校(32.7%)

↓
R7 累積31校(53.4%)

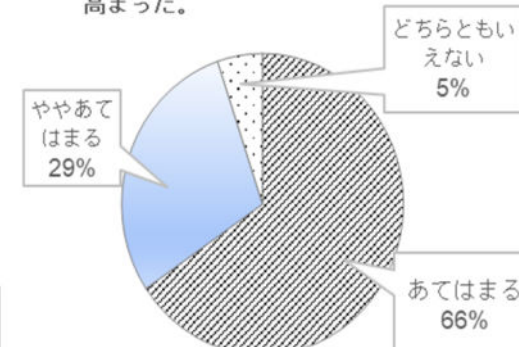
留学の裾野が大幅に拡大

■ 派遣留学生のデータ (アンケートより)

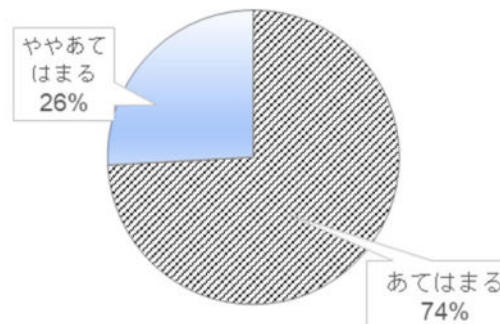
① 自分の意見を発信する力が高まった。



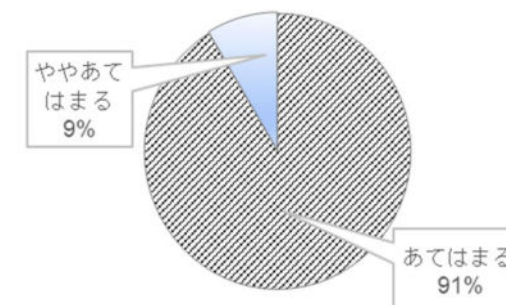
② 外国語のコミュニケーションスキルが高まった。



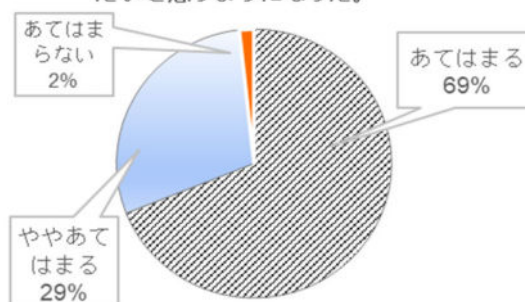
③ 課題を発見し、解決策を考える力がついた。



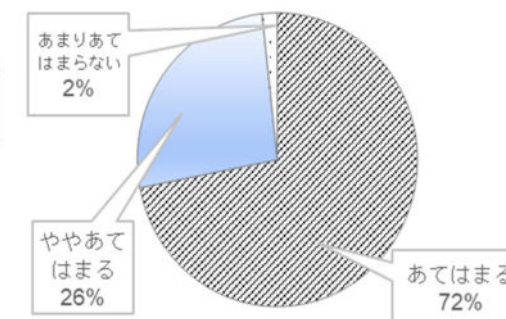
④ 異なる文化や価値観を持つ人たちとコミュニケーションをとることで、広い視野で物事を考えようと感じている。



⑤ ふるさと石川の自然・環境、文化・伝統、産業、未来についてもっと知りたいと思うようになった。



⑥ 地域貢献をしたいと思うようになった。



■ 支援企業一覧(50音順)

(株) アイ・オー・データ機器

石川県信用金庫協会

(株) 石野製作所

(株) 板尾鉄工所

EIZO (株)

金沢ホテル懇話会

協和道路 (株)

(株) キョー・エイ

(株) 久世ベローズ工業所

小中出建設 (株)

小前田運輸 (株)

(株) 小松製作所

小松ウォール工業 (株)

(株) CCIグループ

(株) COM-ONE

サイバーステーション(株)

サンコロナ小田 (株) 小松本店

(株) システムサポート

(株) スギヨ

大和ハウス工業 (株) 北陸支社

(株) タガミ・イーエクス

津田駒工業 (株)

中村留精密工業 (株)

(株) P F U

(株) フクズミ

(株) フジセイカ

ホクショー (株)

(株) 北都鉄工

北陸通信ネットワーク(株)

(株) 丸西組

三谷産業 (株)

宮本産業 (株)

明和工業 (株)

(株) 横山商会

米沢電気工事 (株)

(株) 六星

(株) 輪島丸善